

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
アバンツアーレスポーツ岩手盛岡・矢巾		2026 年 3 月 13 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	4	・パーティションで静と動のエリア分けがしっかりされている。	・体を動かしたい子と静かに過ごしたい子の仕切りが出来ない ・クールダウンスペースがもう少しあればいい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10	2	・法令に則って人員配置が為されている。	・子どもたちのトラブルの際に間に入る大人が少ない。またそれによって対応が遅れてしまう。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	5	・視覚的優位な利用者が多数いるため表示物での工夫がなされている。	・今日の流れやスケジュール表を作って可視化できたら良いと感じる ・バリアフリー化はされていない ・玩具の位置が固定化されていない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	3	・毎朝清掃を徹底している。	・体育館等を借りている。 ・室内では物やお菓子を散らかす利用者も居るため衛生意識が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	・別室移動等で落ち着かせる手段がとられている。	・完全個室があれば良いと思う
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	3	・振り返り反省点を書く時が設けているのでその都度確認が出来ている。	・一部職員が参画。全体への周知が十分にされていない時がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	3	・回覧等で周知している。	・全体に話が広がらずに終わった話があった為所内会議で時間を取る。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	・朝礼や所内会議で意見の共有がされている。 ・指導員一人一人が意見を出せるような空気や機会がある ・全体で確認をする場であるので全員で確認をして改善	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	4	・実地指導での結果の社内共有や改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	・社内研修が豊富で外部講師によるものも定期的に行われている。 ・様々な研修があり学べることがある。	・開催されているが障がい児についての研修をもっと受けたい
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	・期間内で作成・公表されている。 ・利用が始まる前に確認している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	・正確なモニタリングをもとに計画が作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	1	・支援に関わる指導員が共通認識を持ち支援にあたる事ができている。	・計画作成に携わらない従業員もいるため理解に差がある。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	2		・共有はされるが支援にばらつきがある為毎月支援会議で話し合う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2	・日々の出来事記録や関係機関に提出する直近のアセスメント等で確認できている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	・アセスメントや日々の観察をもとに具体的に示されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	6		・個人に任せているところがあるのでチームで意見を出し合う機会を設ける。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	7	・サッカー支援プログラムは固定化しているが、ボールフィーリングはメンバーによって変えている。	・似たようなものになっている個人個人に合わせたものではない ・変更が苦手な子がいるので少しの変更は行ってもいいと思う
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	・状況やニーズに応じて適切と思われる支援が行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	6	・打ち合わせや情報共有はしっかりできている。	・支援の内容によって属人的になっている。 ・業務が出来る人出来ない人にバラツキがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	1	・更新面談の他利用者家族の希望に応じて別途モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	3	・創作活動を通して余暇の充実をはかっている。	・「4つの基本活動」が全員に周知されていない為会議等で周知していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	2	・室内活動サッカー・支援ともに選択の場面を提供できている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	・管理者が出席できている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0	・学校の情報収集を欠かさずおこない送迎計画等に反映できている。 ・予定表などをしっかり確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	2	・場を設けて共有できている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	6	・管理者が会議に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	8		・他団体との関わりがほぼ一切ない。 ・地域活動を調べて機会があればつくっていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	7	・管理者が出席している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	2	・送迎時を活用してその日の様子の申し送りや家での様子の聞き取りを行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	6		・地域の研修会などに積極的に参加し知識を深めていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	1	・契約時やその前の段階で欠かさず行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	・子どもや家族の意向を取り入れた支援が行われている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	2		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	1	・連絡帳等で相談などを受けた場合には自分だけで解決せず周りにも相談したうえで返事をする。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11	1	・定期的に保護者イベントを行っている。 ・イベントを通して保護者同士で交流する時間を考えながら企画している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	2	・苦情があった場合にはすぐに上司に相談し必要な指示をうけ保護者に対応する。	・時間がかかったケースがあった。情報のやりとりが不十分だった。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0	・HP・SNS・チラシ（お知らせ）、会報誌等多岐にわたる ・インスタ等では利用している子がより多く写るように分かりやすい内容で投稿するようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	1		・仕事以外の所では話さないようにする。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・保護者と話す際には子供に聞かれないように小声で話して伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	7	・いつでも見学していい環境である。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	・全員で行い、その場で意見をすぐにまとめて周知出来るようにしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	・避難経路や電話番号など見やすいところに掲示している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	・てんかん発作などがある子は事前に把握して対応できるようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	3	・おやつやお菓子作り際にはアレルギーのものが無いように選んでいる。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1	・けがをした際にどのように対応すればいいのか学ぶ機会があるといい	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2	・SNSや連絡帳などを通して訓練の様子を伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	・その都度書面と朝礼で発表し従業員に伝えることで再発防止につなげている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	・年に何度か研修を設けたり、会社のチャットで事案があった際には内容を流している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0		